



自然の中での安全対策委員会

取り組みをご存知ですか？

セーフコミュニティは、関係団体や市民の皆さんと一緒になつて取り組む安全・安心なまちづくりです。次の①～③の取り組みを知つていただき、事故やケガにご注意ください。

今回は、市民アンケートで認知度が低かつた「自然の中での安全対策委員会の取り組み」をご紹介します。

も配布しています。

「登山道の環境整備」では、遭難件数の多かつた秩父御岳山や両神山の迷いやすい箇所に案内板や簡易標識を設置（写真②）し、環境整備を行つています。



写真①

写真②

写真③

写真④



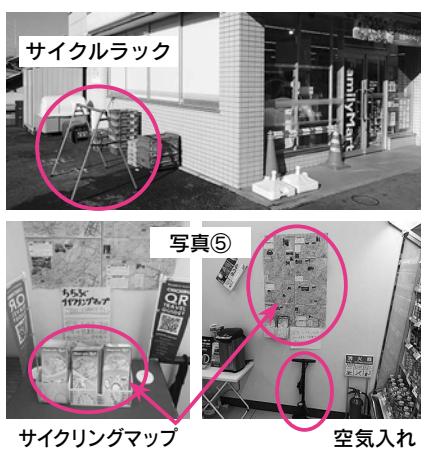
「チラシの配布」では、草刈り機の安全な使用方法についての啓発チラシ（画像①）を町会を通じて回覧したり、ホームセンターに設置し、趣味で農作業をする人や町会でボランティア作業をする人へ安全使用の周知を行つています。

「安全登山の啓発」では、山岳事故が多くなる「春・夏・秋」の年3回、登山届の重要性を啓発し、登山の危険性や装備・携行品等について注意を促すキャンペーン（写真①）を実施し、駅前や登山道の入り口においてパンフレットを配布しています。また、パンフレットは、駅構内やバス案内所内、タクシー内で

※現在、市内21カ所のコンビニエンスストアに、ご協力をいただいています。

○認知度の向上へ向けて

積極的に取り組みを周知・展開し、安全で安心な住みよいまちづくりを目指に、セーフコミュニティ「自然の中での安全対策委員会の取り組み」の普及に努めてまいります。



空気入れ

安全・安心なまちづくりに関する市民意識調査 アンケート結果（2019年5月実施）

取り組み	認知度
安全登山の啓発	28.7%
安全講習会の開催	21.4%
ホームセンターでのチラシ配布	14.4%
サイクリングマップの配布	13.1%
安全ポイントの設置・周知	9.4%

①「登山・ハイキングへの取り組み」警察の山岳遭難データを見るところ、市では毎年多くの山岳遭難が発生しており、死亡する事故も起っています。こうしたことから、登山・ハイキングでのケガや事故を予防するため、「安全登山の啓発」、「登山道の環境整備」を行っています。

②「農林作業中への取り組み」自然の中での外傷による救急搬送データを見ると、農林作業中の事故が多くなっていることから、農林作業中の事故を防止するため、「安全講習会の開催」、「チラシの配布」を行っています。「安全講習会の開催」では、遠方まで行かないと参加できないから、講習会を開催しやすかった講習会を市内で開催（写真③）し、講習会に参加しやすい環境づくりを行っています。

③「サイクリングへの取り組み」救急搬送データで農林作業中と同様に事故の多かつたサイクリング中の事故を防止するため、自転車のパンク修理キットや自転車安全ポイントの設置・周知を行っています。

④「安全ポイン

ト」（写真⑤）を設置し記載してサイクリングマップに注意喚起を行っています。

問 危機管理課 22-2206